

# 現場説明書

- 1 工事名称 大丸公園トイレ改修工事
- 2 工事場所 阿久根市 大丸町 地内
- 3 工事内容 外壁改修 一式  
屋根防水改修 一式  
給排水衛生設備改修 一式  
外構 一式
- 4 工事期間 着 手 契約日以降  
完 成 着手日から 90 日間
- 5 支払条件 阿久根市会計規則による。
- 6 質疑回答 質疑 令和 8 年 5 月 25 日 17 時迄に書面により阿久根市役所財政課管財係に提出すること。(質疑のない場合は不要。)  
回答 令和 8 年 5 月 26 日 17 時迄に回答する。
- 7 設計内訳明細書(数量表及び見積採用価格)を入札見積りの参考資料として公開する。  
記載の数量は「公共建築数量積算基準」及び「公共建築設備数量積算基準」による設計数量、計画数量又は所要数量となっており、実際の施工に必要な数量と合わないことがあるので十分注意すること。また、見積採用単価については、実取引価格を各自で確認した上で入札見積を行うこと。  
入札見積り時や工事着手前に、入念に精査した上で、疑義があれば、質疑書などにより、早期の解消に努めること。
- 8 「週休 2 日」試行工事について
  - (1) 本工事は、「週休 2 日」試行工事の対象である。
  - (2) 試行に当たっては、『「週休 2 日」試行工事実施要領』に基づき行うものとする。
  - (3) 実施要領は、阿久根市ホームページから取得できる。
- 9 落札者の遵守事項
  - (1) 建設業退職金共済制度(以下「建退共」という。)の普及徹底について
    - ① 建設業者は、特殊法人・建設業・清酒製造業・林業退職金共済組合(以下「組合」という。)に加入するとともに、その建退共の対象となる労務者について、証紙を購入し、当該労務者の共済手帳に証紙を貼付すること。
    - ② 工事を受注した建設業者は、組合の発注者用掛金収納書を契約締結後、工程表と共に提出すること。

- ③ 建設業者が、下請け契約を締結する際は、下請け業者に対してこの制度の趣旨を説明し、必要な建退共の証紙を現物交付すること。
- ④ 下請け業者の規模が小さく、管理事務の処理の面で、万全で無い場合は元請業者に組合加入手続き及び組合関係事務の処理を委託する方法もあるので、元請業者は、積極的に受託するようにすること。
- ⑤ 「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」である旨の標識を現場に掲示すること。
- (2) 建設工事請負契約書標準書式第 10 条による現場代理人等選任（変更）通知書に監理技術者資格証等の写しを添付すること。
- (3) 工事实績情報として「工事カルテ」を作成する必要がある場合には、「カルテ」を作成後、監督職員に提出し、承諾を受けた後に(財)日本建設情報総合センター(JACIC)に登録するとともに、登録結果を監督職員に報告する。
- (4) 工事中仮設電力、工事中用水、工事中用電話、工事中用事務所は業者負担とし、本工事中には、本工事中に関連する工事中の完了引渡日が属する月の電気料及び水道料（基本料金を含む）を含むものとする。
- (5) 契約後、速やかに実施工程表を提出し承諾を受けると共に、毎月 20 日までに月末見込の工事中出来高報告書（県指定様式）を提出すること。
- (6) 敷地内運搬路、作業場等は、工事中完成後原形に復し、検査を受けること。
- (7) 工事中に支障を生じる地中埋設物又は架線等の移設復旧は、原則、本工事中に含まれるものとする。なお、仮囲い、矢板打込み及び基礎根切り等においては、事前に地中埋設物の確認を行い十分に注意しながら作業を行うこと。
- (8) 再生資源の使用に努めること。（再生クラッシャーラン等）
- (9) 養生はリサイクルボードをなるべく活用すること。
- (10) 下請契約及び下請代金支払の適正化並びに施工管理の徹底については、国土交通省土地・建設産業局長通知(H29.12.1付国土建推第27号)によること。
- (11) 工事中の着手は、監督職員と作業日程や安全面での打合せを十分に行い、総合仮設計画を作成し、承諾を得てから行うこと。
- (12) 国土交通省が定めた写真管理基準を満たした電子媒体による写真とすること。
- (13) 工事中完成後は、竣工図を作成しCADデータで提出すること。
- (14) 地域行事等については事前に把握し、地域住民等と協議し特に支障のある場合は工事中を行わないなどの措置をとること。（地域行事や近隣学校施設等の行事など）
- (15) 工事中用通路や仮囲いは、図に示すとおりとするが、事前に監督職員と打合わせを行うこと。（必要な場合はロープ等により安全対策を行うなど対策を行うこと。）
- (16) ヤンバルトサカヤスデのまん延を防止するため、当該現場での土壌や植物等の搬出入に当たっては、別途「ヤンバルトサカヤスデのまん延防止対策について」を参考に、十分注意を払うとともに、ヤンバルトサカヤスデの棲息が確認された場合は、まん延防止対策を講ずる必要があるため、棲息状況等の調査を行い、監督職員に報告すること。
- (17) 本工事中により発生する建設廃棄物のうち、焼却施設及び最終処分場に搬入する産業廃棄物には、産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。
- (18) 特定建設資材の分別解体・再資源化等については、建設リサイクル法第9条に該当しない建設工事中においても、再資源化するものとする。

(19) 再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書については、着手前に全ての工事において提出すること。また、工事完了後その実施書についても提出すること。この場合、建設副産物情報交換システム（COBRIS）の利用を推奨する。

(20) 産業廃棄物管理票（マニフェスト）の提出

本工事の施工により発生する産業廃棄物については、処分状況等の記録（E票の写し及び産業廃棄物管理票（マニフェスト）総括表（別添様式1））を工事完成図書に添付すること。なお、工事完了時点で最終処分が完了せず、E票が処分業者より返送されていない場合は、A票、B2票及びD票のうち直近に返送されたものの写しを添付すること。ただし、この場合においても、最終処分が完了し、E票が処分業者より返送され次第、直ちに同票の写しを提出すること。

(21) 産業廃棄物管理型最終処分場へ搬出する廃棄物が発生した場合は、「エコパークかごしま」を積極的に活用すること。

(22) 工事の実施に当たっては、「阿久根市環境改善実施要領（工事編）」に基づき、受発注者相互に協力し取り組むこと。当該実施要領は、阿久根市ホームページから取得できる。

#### 【安全対策について】

(23) 工事による危害防止等には十分な安全計画を立てること。（第三者への安全計画・対策を含む。）

(24) 工事期間中の騒音安全等には十分配慮して施工し、周囲の工作物等を破損した場合は、速やかに原形に復すると共に、第三者等に対する苦情処理も的確に行うこと。

(25) 地域住民等及び第三者の安全に特に注意する必要があるため、各施工業者と協力して安全協議会等を設置し、必要に応じて誘導員を配置するなど安全対策に努めること。

(26) 本工事区域の前面道路等周辺は、多くの近隣学校の生徒、一般歩行者が通行していることを工事関係車両運転者その他工事関係者全員に周知させ、安全確保に細心の注意を払うとともに、工事車両は近隣住宅付近、道路上に駐車、待機を行わないこと。また、場内待機の車両は、作業段取りをする車両を除き、アイドリングストップを心がけること。

(27) 現場作業及び資材搬入のある日は、必要に応じて交通誘導員等を配置し、安全対策を徹底すること。

(28) 工事関係車両の工事区域への出入りは、渋滞防止と安全性の面から原則、左折のみとするが、時間帯等を考慮し交通誘導員の指示により出入りすることとする。

(29) 本工事において、受注者は法定外保険の労災保険に付さなければならない。工事請負契約書第54条（火災保険等）において、受注者は保険契約を締結したときは、その証券等を発注者に提示し、法定外の労災保険への付保の状況の確認を受けること。

(30) 本工事の共通費において、現場従業員及び現場雇用労働者の墜落制止用器具費が含まれている。作業床・手すり等の設置が困難な場合には、労働者の危険を防止する手段として、墜落制止用器具の使用を講じること。

(31) 使用材料については、図面上の仕様と同等以上とし、施工前に必要な試験等を行い、施工計画書は監督職員の承諾を受けること。

(32) 工事中に発生する残土については、適切に処分すること。

# 閱覽設計書

工事名称 大丸公園トイレ改修工事

工事場所 阿久根市大丸町地内

## 【工事概要】

外壁改修	一式
屋根防水改修	一式
給排水衛生設備改修	一式
外構	一式

## 【工期】

90日間

















建築工事 細目別内訳

大丸公園ト化		建築工事		直接仮設工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生(外壁改修)		17	建改監 ㎡			B0-181285 No.1 標準
整理清掃後片付け(外壁改修)		17	建改監 ㎡			B0-181286 No.1 標準
養生(屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	8.4	建改監 ㎡			B0-181283 No.1 標準
整理清掃後片付け(屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	8.4	建改監 ㎡			B0-181284 No.1 標準
養生(内部改修)	個別改修	5	建改監 ㎡			B0-181281 No.1 標準
整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	5	建改監 ㎡			B0-181282 No.1 標準
枠組本足場(手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 12m未満	37.8	建改監 ㎡			代価表 0001
柵状養生シート張り	防災I類	37.8	建改監 ㎡			代価表 0002
安全手すり(手すり先行方式)	枠組本足場用	17.2	建改監 m			代価表 0003
仮設材運搬(枠組本足場)(手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	37.8	建改監 ㎡			B0-131691 No.1 標準
仮設材運搬(シート・柵類)		37.8	建改監 ㎡			B0-131688 No.1 標準
仮設材運搬(安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	17.2	建改監 m			B0-131671 No.1 標準
計						

建築工事 細目別内訳

大丸公園ト化		建築工事		防水改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
高圧水洗浄		10.6	建改監 ㎡			刊行物比較表 1
塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタン系 平面 表面塗装メーカー標準色	8.6	建改監 ㎡			B0-231142 No.1 参資
塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタン系 立上り 表面塗装メーカー標準色	2	建改監 ㎡			B0-231142 No.1 参資
下地調整	ホリマーメントベスト	10.6	建改監 ㎡			刊行物比較表 2
シーリング	MS-2 10×10 建具廻り	7.1	建改監 m			B1-000262 No.1 ※独自
計						





大丸公園トイレ		建築工事			外構工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
型枠	打放合板型枠B種 壁式構造 基礎部	2.3	建改監 ㎡			B0-434411 No. 1 補単	
打放し面補修	B種 コーン処理 部分目違いばらい	2.3	建改監 ㎡			B0-134441 No. 1 標準	
型枠運搬費	4t車 30km程度 往復	2.3	建改監 ㎡			B0-434421 No. 1 市場	
						(コメント)	
床コンクリート直均し仕上げ (10㎡以下)	金ごて 僅少 (10㎡以下) 施工面積0.4㎡	1	建改監 式			B1-000298 No. 1 ※独自	
床モルタル塗り (10㎡以下)	金ごて コニットタイル下地 厚22 僅少 (10㎡以下) 施工面積1.2㎡	1	建改監 式			B1-000299 No. 1 ※独自	
歩道用スロープタイル張り	100角	1.2	建改監 ㎡			刊行物比較表 3	
						(コメント)	
ワイヤーメッシュ	6φ 150×150	1.2	建改監 ㎡			B1-000002 No. 1 独自	
スロープ 手すり	二段 ステンレス	2.1	建改監 m			刊行物比較表 5	
						(コメント)	
土工機械運搬 (バックホウ)	排出ガス対策型 油圧式クローラ型0.13m3	1	建改監 往復			B0-132716 No. 1 参考	
計							

機械設備工事 細目別内訳

大丸公園トイレ		機械設備工事			内部改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
洋風大便器(床下排水)	普通便座 ロータリ固定 棚付二連紙巻器共	1	建改監 組			M1-000792 No. 2 ※独自	
手すり (I型)	樹脂被覆 コンクリート用	600	建改監 個			M1-000774 No. 2 独自	
						(コメント)	
自動フラッシュバルブ取替	小便器	1	建改監 か所	66,600		衛生器具 1	
ストロップ取替	手洗器用	1	建改監 か所	13,400		衛生器具 2	
						(コメント)	
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	機械室・便所 75A	1	建改監 m			M0-631156 No. 2 標準	
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	機械室・便所 100A	1	建改監 m			M0-631156 No. 2 標準	
						(コメント)	
床上掃除口 (非防水形)	COA 100A	1	建改監 個			M0-733132 No. 2 標準	
接続フキ(金属)(ベソリ管)	300L	1	建改監 本			M1-000178 No. 2 独自	
計							





その他							
NO	名称	摘要	単位	数量	単価	金額	丸め備考
	枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 12m未満	㎡	1			有り 代価表 0001
	ネット状養生シート張り	防災 I 類	㎡	1			有り 代価表 0002
	安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用	m	1			有り 代価表 0003
	和便器撤去		組	1			有り 代価表 0006
	I型手すり撤去	L300	本	1			有り 代価表 0007
	排水管撤去	75A 便所	m	1			有り 代価表 0009
	排水管撤去	100A 便所	m	1			有り 代価表 0010
	床モザイクタイル張り	エッジタイル張 施工手間 - 50mm角 下地モザイク別途 僅少	㎡	1			有り 代価表 0011

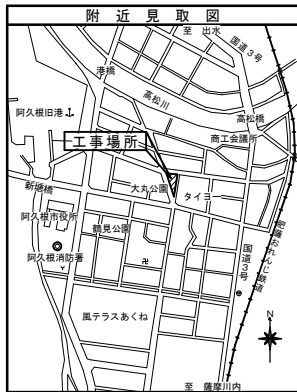
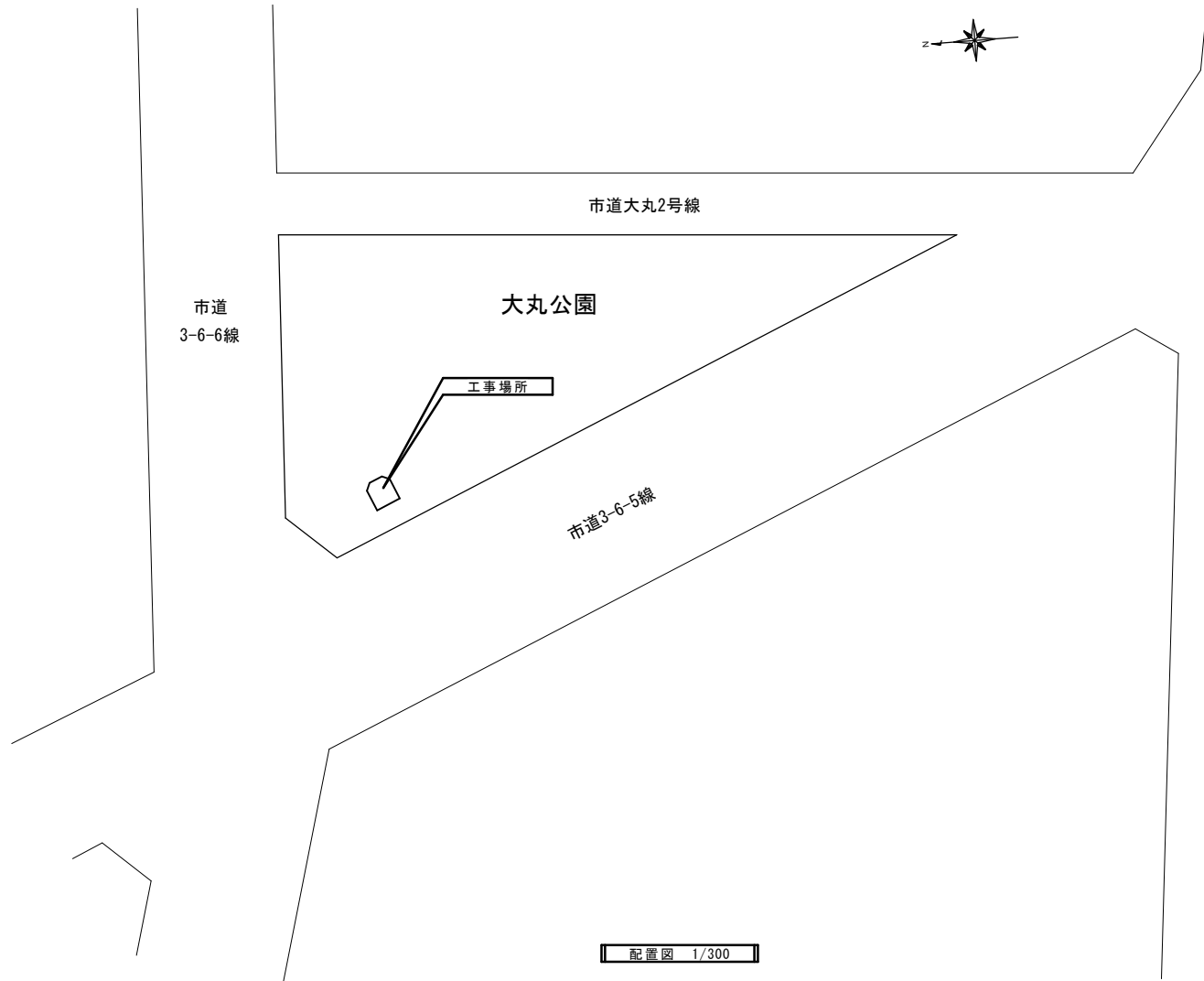
その他									
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	率対象	備考
	枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 12m未満	m <sup>2</sup>	1					代価表 0001
01	枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 掛払い手間 12m未満 -	m <sup>2</sup>	1	1				B0-131519 No.1 標準
02	枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 供用1日賃料 修理費含む 12m未満 -	日	63	1				B0-131519 No.1 ※標準
03	枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 基本料 修理費含む 12m未満 -	m <sup>2</sup>	1	1				B0-131519 No.1 標準
	計								
	ネット状養生シート張り	防災Ⅰ類	m <sup>2</sup>	1					代価表 0002
01	メッシュシート張り	防災性能 JIS A 8952 Ⅰ類 掛払い手間 -	m <sup>2</sup>	1	1				B0-131562 No.1 標準
02	ネット状養生シート張り	防災Ⅰ類 供用1日賃料 修理費含む -	日	53	1				B0-131562 No.1 ※標準
03	メッシュシート張り	防災性能 JIS A 8952 Ⅰ類 基本料 修理費含む -	m <sup>2</sup>	1	1				B0-131562 No.1 標準
	計								

代価表

その他									
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	率対象	備考
	安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用	m	1					代価表 0003
01	安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い手間 -	m	1	1				B0-131568 No.1 標準
02	安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 供用1日賃料 修理費含む -	日	63	1				B0-131568 No.1 ※標準
03	安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 基本料 修理費含む -	m	1	1				B0-131568 No.1 標準
	計								
	和便器撤去		組	1					代価表 0006
01	配管工		人	0.555	1			●	M0-911162 No.2 参資 公共建築工事標準単価積算 基準M179
	諸経費(労)		式	1	0.47			●	
	計								
	I型手すり撤去	L300	本	1					代価表 0007
01	配管工		人	0.039	1			●	M0-911162 No.2 参資 公共建築工事標準単価積算 基準M180仕切板準用
	諸経費(労)		式	1	0.47			●	
	計								

その他								
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	備考
	排水管撤去	75A 便所	m	1				代価表 0009
01	配管工		人	0.228	0.3			● M0-911162 No.2 参資 公共建築工事標準単価積算 基準M47
	諸経費(労)		式	1	0.47			●
	計							
	排水管撤去	100A 便所	m	1				代価表 0010
01	配管工		人	0.294	0.3			● M0-911162 No.2 参資 公共建築工事標準単価積算 基準M47
	諸経費(労)		式	1	0.47			●
	計							
	床モザイクタイル張り	エントタイル張 施工手間 - 50mm角 下地モルタル別途 僅少	m <sup>2</sup>	1				代価表 0011
01	床モザイクタイル張り	エントタイル張 施工手間 - 50mm角 下地モルタル別途	m <sup>2</sup>	1	1.3			B0-233254 No.1 標準
	計							

# 大丸公園トイレ改修工事



配置図 1/300

阿久根市都市建設課	備考	担当	製図	年月日	2026/04	工事名	大丸公園トイレ改修工事	図面番号	01
		追口	追口	縮尺	1/300	図面名	大丸公園トイレ改修工事・附近見取図・配置図		







4-4 ○タイルの形状、寸法等 [4.4.5] [4.6.2]

タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状寸法(mm)	暖房室による区分				うわぐすり	投物	色	耐凍害性	耐凍害性	備考
			上壁	下壁	床	天井						
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

標準的な曲がりの投物は一体成形とする

試験張り ○ 行う ○ 行わない  
見本焼き ○ 行う ○ 行わない

●既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整 [4.5.4]

工法	処理範囲	下地の状態	加工力
○ 剥離工法	○ 既存仕上全体 ○ 部分	○ 行う	-
○ 薬液剥離工法	○ 既存仕上全体 ○ 部分	○ 行う	○ 20~100N程度 ○ 100~250N程度
○ 塗膜はく離剥工法	○ 既存仕上全体 ○ 部分	○ 行う	-
● 水浸し工法	○ 上記処理範囲以外の ○ 既存仕上全体	○ 行う	● 10~30N程度

○下地調整塗材 [4.5.2.4]

○ 下地調整塗材 (○ C-1 ○ C-2 ○ C-2')

○ 8'9'-セメントモルタル

●仕上塗材仕上げ [4.1.5] [4.5.2]

建物内部に使用する塗料の揮発性有機化合物放散量

○ F☆☆☆☆ ○

新規仕上塗材の種類

○ 薄付け仕上塗材

種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	塗膜強度	防火材料
○			○ 適用する	○
○			○ 適用する	○

○厚付け仕上塗材

種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	塗膜強度	上塗材	防火材料
○			○ 適用する	○ 適用する	○
○			○ 適用する	○ 適用する	○

●復層仕上塗材

種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐凍害性及び保水性の種類	防火材料	
● 防水防凍塗料	平塗り	平塗り	塗膜	● 水系 ○ ○ ● つやあり耐凍害1種 ○ つやなし ○ 3層	● 79系 ● 耐凍害2種 ○ 8'9'セメント系 ○ 79系(9)系 ○ 系	○

○可とう形改修用仕上塗材

種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐凍害性及び保水性の種類	防火材料
○			塗膜	● 水系 ○ ○ ○ ○ つやあり耐凍害1種 ○ 79系(9)系 ○ 系	○

4-5 ○マステック塗料塗り [4.1.5] [4.6.2]

改修標準仕様書[4.6.2]による

○外壁用塗膜防水材塗り

仕上げ形状	工法
○ 凹凸 ○ 凸凹塗 ○ 吹付け	○ 吹付け ○
○ 平塗り ○ さざ波	○ 平塗り ○

外壁用仕上塗材の耐凍害性 ○ JIS A 6909の耐凍害性1種相当

下地準拠紙面材の適用  
○ 適用する ○ 適用しない

吹付け工法の仕様材の種類  
○  
(所要量 ○0.3kg/m<sup>2</sup>以上 ○ kg/m<sup>2</sup>)

外壁用仕上塗材の種類  
○  
(所要量 ○0.25kg/m<sup>2</sup>以上 ○ kg/m<sup>2</sup>)

コンクリートのひび割れ部及び欠損部は、改修特記仕様書 4章外壁改修工事(コンクリート打ち仕上げ外壁改修)による

モルタルのひび割れ部及び欠損部は、改修特記仕様書 4章外壁改修工事(モルタル仕上げ外壁改修)による

既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書 4章外壁改修工事(塗り仕上げ外壁改修)による

○防犯建物部品 [5.1.7]

○アルミニウム製建具 [5.2.2~5]

5 ○改修工法

建具改修工事

既存建具の種類	かさね工法	撤去工法	適用箇所
○ 79系建具	○	○	○ 建具表による ○
○ 樹脂製建具	-	○	○ 建具表による ○
○ 鋼製建具	○ 外部 ○ 内部	○	○ 建具表による ○
○ 鋼製建具	○ 外部 ○ 内部	○	○ 建具表による ○
○ 鋼製建具	○	○	○ 建具表による ○
○ 鋼製建具	○	○	○ 建具表による ○
○ 鋼製建具	○	○	○ 建具表による ○

新規に建具を設ける場合  
壁部分の開口の開口方  
○ 閉示 ○  
新規建具周囲の補修工法及び範囲  
○ 閉示 ○

建具周囲のペーパーは、改修特記仕様書3章 防水改修による

防火戸の指定  
○ 指定する 適用箇所 (○ 建具表による ○)  
○ 指定しない

防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とガラス設置、熱感知器又は煙感知器との連動  
○ 連動させる (○ 建具表による ○)  
○ 連動させない

性能等級  
○ 外部に面する建具の種類 (コンクリート系下地及び鉄骨下地)  
○ A種 (建具符号 ○ 建具表による ○)  
○ B種 (建具符号 ○ 建具表による ○)  
○ C種 (建具符号 ○ 建具表による ○)

○ 外部に面する建具の種類 (木下地)  
標準仕様書(表16.2.2)  
○ D種 (建具符号 ○ 建具表による ○)  
○ E種 (建具符号 ○ 建具表による ○)

○ 上記にふらぬ場合  
耐風圧性の等級 ( )  
気密性の等級 ( )  
水密性の等級 ( )  
(建具符号: ○ 建具表による ○)

○ 防音T7、防音サツ  
○ 遮音性の等級 ( )  
(建具符号: ○ 建具表による ○)

○ 断熱T7、断熱サツ  
○ 断熱性の等級 ( )  
(建具符号: ○ 建具表による ○)

○ 耐震T7  
○ 面内変形追随性の等級 ( )  
(建具符号: ○ 建具表による ○)

形状及び仕上げ  
枠の見込み寸法 ○ 建具表による ○

表面処理の種類  
外部に面する建具  
(種別) ○ BB-1種 ○ BB-2 (改修標準仕様書[表5.2.2])  
(着色) ○ 標準色 ( ) ○ 特注色 ( )

屋内に使用する建具  
(種別) ○ BC-1種 ○ BB-2 (改修標準仕様書[表5.2.2])  
(着色) ○ 標準色 ( ) ○ 特注色 ( )

材料  
スチール鋼板  
○ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ○  
スチール製のくつりの仕上げ  
○ HL程度 ○ No.2B ○

結露水の処理方法  
処理方式 ○ 水貯め式 ○ 排水式  
設置箇所 ○ 建具表による ○ 閉示 ○

水切り、ぜん板 ○ 建具表による ○ 閉示 ○

5 ○網戸等 [5.2.3] [5.3.3]

網戸等

種別	材種	網径	網戸
○ 防虫網	○ 合成樹脂製 ○ 3層編入り合成樹脂製 ○ 3層編入り合成樹脂製 ○ 3層編入り合成樹脂製	○ 0.25mm以上	○ 18~18mm
○ 防虫網	3層編入り合成樹脂製	1.5mm	網径寸法15mm

性能等級  
○ 外部に面する建具の種類 (コンクリート系下地及び鉄骨下地)  
○ A種 (建具符号 ○ 建具表による ○)  
○ B種 (建具符号 ○ 建具表による ○)  
○ C種 (建具符号 ○ 建具表による ○)

○ 外部に面する建具の種類 (木下地)  
標準仕様書(表16.2.2)  
○ D種 (建具符号 ○ 建具表による ○)  
○ E種 (建具符号 ○ 建具表による ○)

○ 上記にふらぬ場合  
耐風圧性の等級 ( )  
気密性の等級 ( )  
水密性の等級 ( )  
(建具符号: ○ 建具表による ○)

防音T7、防音サツ  
○ 遮音性の等級 (○ T-1 ○ T-2)  
(建具符号: ○ 建具表による ○)

断熱T7、断熱サツ  
○ 断熱性の等級 (○ H-4 ○ H-5 ○ H-6)  
(建具符号: ○ 建具表による ○)

外部に面する建具の日射取得性の等級  
○

材料  
ガラス  
○ 建具表による ○ 複層ガラス ○  
スチール製のくつりの仕上げ  
○ HL程度 ○ No.2B ○

形状及び仕上げ  
枠の見込み寸法 ○ 建具表による ○  
表面色 ○ 標準色 ( ) ○ 特注色 ( )

工法 水切り、ぜん板 ○ 閉示 ○

5 ○鋼製建具 [5.4.2~5]

性能等級  
○ 外部に面する建具の種類 (コンクリート系下地及び鉄骨下地)  
○ A種 (建具符号 ○ 建具表による ○)  
○ B種 (建具符号 ○ 建具表による ○)  
○ C種 (建具符号 ○ 建具表による ○)

○ 外部に面する建具の種類 (木下地)  
標準仕様書(表16.2.2)  
○ D種 (建具符号 ○ 建具表による ○)  
○ E種 (建具符号 ○ 建具表による ○)

○ 上記にふらぬ場合  
耐風圧性の等級 ( )  
気密性の等級 ( )  
水密性の等級 ( )  
(建具符号: ○ 建具表による ○)

○ 防音T7、防音サツ  
○ 遮音性の等級 ( )  
(建具符号: ○ 建具表による ○)

○ 断熱T7、断熱サツ  
○ 断熱性の等級 ( )  
(建具符号: ○ 建具表による ○)

○ 耐震T7  
○ 面内変形追随性の等級 ( )  
(建具符号: ○ 建具表による ○)

形状及び仕上げ  
枠の見込み寸法 ○ 建具表による ○

表面処理の種類  
外部に面する建具  
(種別) ○ BB-1種 ○ BB-2 (改修標準仕様書[表5.2.2])  
(着色) ○ 標準色 ( ) ○ 特注色 ( )

屋内に使用する建具  
(種別) ○ BC-1種 ○ BB-2 (改修標準仕様書[表5.2.2])  
(着色) ○ 標準色 ( ) ○ 特注色 ( )

材料  
スチール鋼板  
○ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ○  
スチール製のくつりの仕上げ  
○ HL程度 ○ No.2B ○

結露水の処理方法  
処理方式 ○ 水貯め式 ○ 排水式  
設置箇所 ○ 建具表による ○ 閉示 ○

水切り、ぜん板 ○ 建具表による ○ 閉示 ○

5 ○鋼製建具 [5.4.2~5]

性能等級  
○ 外部に面する建具の種類 (コンクリート系下地及び鉄骨下地)  
○ A種 (建具符号 ○ 建具表による ○)  
○ B種 (建具符号 ○ 建具表による ○)  
○ C種 (建具符号 ○ 建具表による ○)

○ 外部に面する建具の種類 (木下地)  
標準仕様書(表16.2.2)  
○ D種 (建具符号 ○ 建具表による ○)  
○ E種 (建具符号 ○ 建具表による ○)

○ 上記にふらぬ場合  
耐風圧性の等級 ( )  
気密性の等級 ( )  
水密性の等級 ( )  
(建具符号: ○ 建具表による ○)

○ 防音T7、防音サツ  
○ 遮音性の等級 ( )  
(建具符号: ○ 建具表による ○)

○ 断熱T7、断熱サツ  
○ 断熱性の等級 ( )  
(建具符号: ○ 建具表による ○)

○ 耐震T7  
○ 面内変形追随性の等級 ( )  
(建具符号: ○ 建具表による ○)

形状及び仕上げ  
枠の見込み寸法 ○ 建具表による ○

表面処理の種類  
外部に面する建具  
(種別) ○ BB-1種 ○ BB-2 (改修標準仕様書[表5.2.2])  
(着色) ○ 標準色 ( ) ○ 特注色 ( )

屋内に使用する建具  
(種別) ○ BC-1種 ○ BB-2 (改修標準仕様書[表5.2.2])  
(着色) ○ 標準色 ( ) ○ 特注色 ( )

材料  
スチール鋼板  
○ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ○  
スチール製のくつりの仕上げ  
○ HL程度 ○ No.2B ○

結露水の処理方法  
処理方式 ○ 水貯め式 ○ 排水式  
設置箇所 ○ 建具表による ○ 閉示 ○

水切り、ぜん板 ○ 建具表による ○ 閉示 ○

5 ○鋼製建具 [5.4.2~5]

性能等級  
○ 外部に面する建具の種類 (コンクリート系下地及び鉄骨下地)  
○ A種 (建具符号 ○ 建具表による ○)  
○ B種 (建具符号 ○ 建具表による ○)  
○ C種 (建具符号 ○ 建具表による ○)

○ 外部に面する建具の種類 (木下地)  
標準仕様書(表16.2.2)  
○ D種 (建具符号 ○ 建具表による ○)  
○ E種 (建具符号 ○ 建具表による ○)

○ 上記にふらぬ場合  
耐風圧性の等級 ( )  
気密性の等級 ( )  
水密性の等級 ( )  
(建具符号: ○ 建具表による ○)

○ 防音T7、防音サツ  
○ 遮音性の等級 ( )  
(建具符号: ○ 建具表による ○)

○ 断熱T7、断熱サツ  
○ 断熱性の等級 ( )  
(建具符号: ○ 建具表による ○)

○ 耐震T7  
○ 面内変形追随性の等級 ( )  
(建具符号: ○ 建具表による ○)

形状及び仕上げ  
枠の見込み寸法 ○ 建具表による ○

表面処理の種類  
外部に面する建具  
(種別) ○ BB-1種 ○ BB-2 (改修標準仕様書[表5.2.2])  
(着色) ○ 標準色 ( ) ○ 特注色 ( )

屋内に使用する建具  
(種別) ○ BC-1種 ○ BB-2 (改修標準仕様書[表5.2.2])  
(着色) ○ 標準色 ( ) ○ 特注色 ( )

材料  
スチール鋼板  
○ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ○  
スチール製のくつりの仕上げ  
○ HL程度 ○ No.2B ○

結露水の処理方法  
処理方式 ○ 水貯め式 ○ 排水式  
設置箇所 ○ 建具表による ○ 閉示 ○

水切り、ぜん板 ○ 建具表による ○ 閉示 ○

下地の種類
○ 標準仕様書(表16.6.1)による床組
○ 8' x 12' フォーム床下地 (ノゾク)
○

畳表及び畳床は4477'ヒド、7477'ヒド及び5377'を敷かないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする

合板類、MDF及び'ニ'の4477'ヒド、接着剤の4477'ヒドの放散量
○ F☆☆☆☆ ○

合板の防虫処理の適用
○ 行う ○ 行わない

Table with columns: 種別名称, 種別, JIS記号, 厚さ(mm), 剥離等. Rows include 木質系(1) and 繊維強化樹脂.

Table with columns: 種別名称, 種別, JIS記号, 厚さ(mm), 剥離等. Rows include 繊維強化樹脂 and 塩化ビニル樹脂.

塩化ビニル樹脂
○

接着剤
○

Table with columns: 種別名称, 種別, JIS記号, 厚さ(mm), 剥離等. Rows include 塩化ビニル樹脂 and others.

せっこうボード製品
○

不燃被覆せっこうボード
○

塩化ビニル樹脂
○

合板類
○

天然木化粧合板
○

特殊加工化粧合板
○

その他のボード類
○

せっこうボード等の下地
○ 図示

せっこうボードの目地工法
○ 仕上り表による

遮音シール材
○ 適用する
○ 7777系又は7777系シール材
○ ショウパネ(カド) (JIS A 6914)
○ 適用しない

合板類の張付けA種
○ B種

4477'ヒド放散量
○ F☆☆☆☆ ○

Table with columns: 施工箇所, 防火性能, 商品名(程度). Rows include 床 and 壁紙張り.

モルタル
○ 現場調合材料
○ 既調合材料 (材料: )

既製目地材
○ 設ける 施工箇所 ( )
○ 設けない 形状 ( )

床の目地
○ 設ける
○ 目地の種類
○ 押し目地
○ 目地割り
○ 2mm程度
○ 最大目地間隔
○ 3mm程度
○ 設けない

モルタル塗り
○

● タイル張り

伸縮調整目地の位置
床材
○ 縦、横とも4mm以内ごと
○ 図示
床材以外
○ 図示
○

伸縮調整目地のシール材、目地工法は改修特記標準仕様書3章による

○ セットタイルによるタイル(タイル)張り

Table with columns: 施工箇所, 種類, 形状寸法, 吸水率, etc. Row for 床.

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

試験張り
○ 行う
○ 行わない
見本張り
○ 行う
○ 行わない

既調合タイル
モルタル下地とした施工に使用する張付け用タイルとして、タイル、継ぎ材、混和剤を予め工場において所定の割合に配合した材料となる(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による

既調合目地材
(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による

下地タイル塗りを行うコンクリート素地面の処理
○

○ 有機接着剤によるタイル(タイル)張り

Table with columns: 施工箇所, 種類, 形状寸法, 吸水率, etc. Row for 床.

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り
○ 行う
○ 行わない
見本張り
○ 行う
○ 行わない

内装壁紙接着剤張りに使用する有機接着剤の4477'ヒド放散量
○ F☆☆☆☆ ○

下地調整塗料塗りを行うコンクリート素地面の処理
○

種類及び品質
○ セッコ系
○ セット系

標準厚さ(mm)
○

Table with columns: 施工箇所, 種類, 寸法(mm), 厚さ(mm). Rows for 床内 and 床外.

視覚障害者用ボード等の突起の形状及びその配列は、JIS T 9251による

○ 樹脂系点字紙 (タイルベタ用)
寸法
○ 300角
○ 500角
色
○ 黄色
○

○ フリーアクセスフロア

Table with columns: 施工箇所, 寸法(mm), 高さ(mm), 所定重量(N), 裏面仕上材, 備考. Rows include 400mm以上, 400mm以下, 600mm以上, 600mm以下.

適用地震時水平力
1階及び地階
○ 0.66以上
中間階( ~ 階)
○ 0.66以上
○ 1.06以上
最上階( 階)
○ 1.06以上

帯電防止床材
○ 設置タイル
○ 'ニ'一体タイル
('ニ'一体タイル)以外の仕上げ材は、別途内装工事とする)

寸法精度
○ 標準仕様書(20.2.2)(b)(5)(i)~(iii)による
厚さ
±0.5mm
平坦度
'ニ'周囲辺部 1.0mm以下
'ニ'中心と各頂点を結ぶ線上 2.0mm以下

表面仕上材の品質、性能は標準仕様書19章による

床材の材質
○ 7777合金タイル製、7777製又は複合材等

加工及びタイル- 製造所の仕様による
○ 図示

配線用取出し'ニ'
7777タイル全体面積に対する設置割合
○ 50%以上
○ 20~30%
○
配線取出し開口
○ 'ニ'1枚につき、40mm x 80mm程度の開口1箇所以上
○ 図示
空洞用吹き出し(吸い込み)'ニ'
○ なし
○ あり(形式、施工箇所: 図示)

(性能・試験方法)
○ タイル- 'ニ'性能
○ 適用しない
○ 適用する
適用室( )
タイル- 'ニ'性能については所定荷重1,000N(5,000Nの積載荷重は1,000N以上(任意))による繰り返し試験後、残留変形3.0mm以下であること('ニ'表面に目録による著しいむだ及び損傷がないこと。かつ、使用上有害なものがたつきがないこと)

○ 2重床用適合タイル用開口
適用室( )
開口の取 7777面積8㎡につき1ヶ所かつ予備開口を14㎡につき1ヶ所開口の大きさ 以下の仕様が入ったタイルが収まる大きさ(電話) コレト-2P15A接地層付 x 2(電話) 情報用'ニ' x 7777 x 8種80 x 1

取付方法 7777タイル製造所の仕様とする

(20.2.3)

Table with columns: 構造形式による種類, 樹脂系材の種類, 'ニ'仕様, 'ニ'仕様材の仕上げ, 遮音性(50/5000), 防火性能. Rows include 231'式(内蔵), 231'式(露出), 'ニ'仕様, 231'ニ仕様.

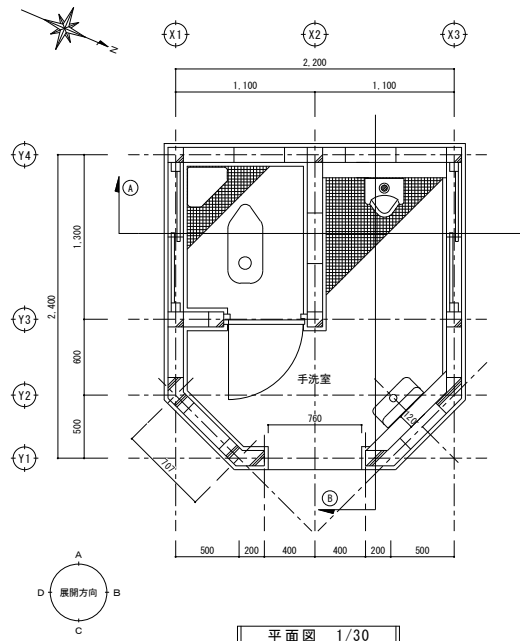
パネル内に取付ける建具
○ あり ( )
○ 図示
○ なし

表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による

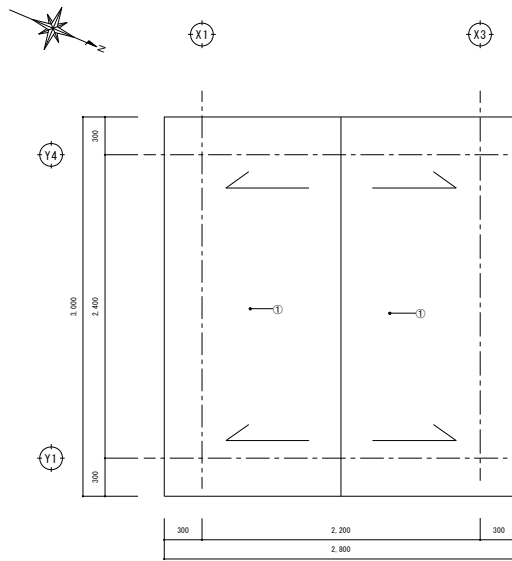
'ニ'材料の4477'ヒド放散量
○ JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上

タイルの材質
○ タイル
○ シーリング

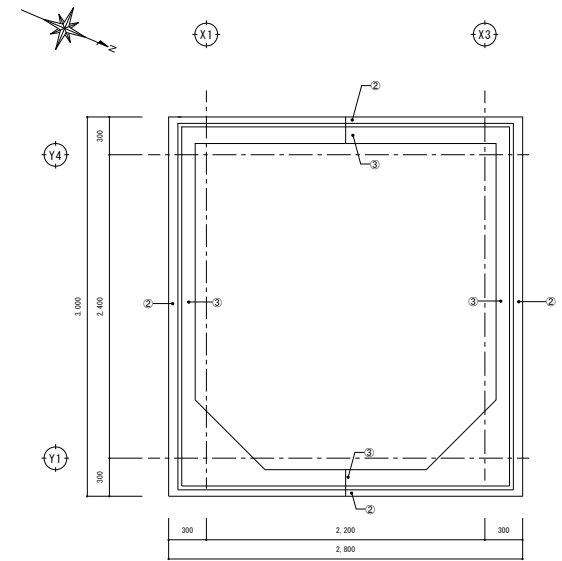
番号	部 位	改修前	改修内容
①	屋 根	コンクリート打放し金ごて EP塗り	水洗い工法→下地調整 (※UVセメントモルタル) →塗膜防水 (X-2)
②	軒 先	コンクリート打放し金ごて EP塗り	水洗い工法→下地調整 (※UVセメントモルタル) →塗膜防水 (X-2)
③	軒 天	コンクリート打放し 吹付けモルタル	水洗い工法 (高圧ホップ) →可とう形改修塗材E (下地: 微弾性フイバー)
④	外 壁	モルタル金ごて押え 吹付けモルタル	水洗い工法 (高圧ホップ) →可とう形改修塗材E (下地: 微弾性フイバー)
⑤	巾 木	モルタル塗り 金ごて押え	水洗い工法 (高圧ホップ)
⑥	建具廻り	シーリング	シーリング (変性シリコン系 MS-2) 10x10 打替



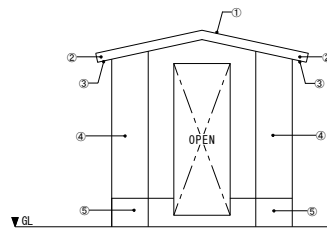
平面図 1/30



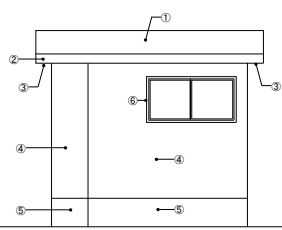
屋根伏図 1/30



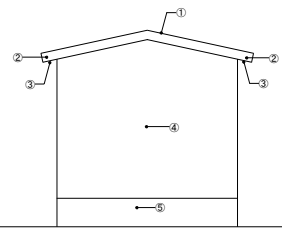
軒天図 1/30



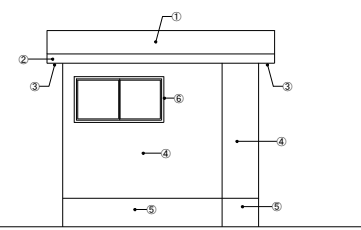
東側立面図 1/50



北側立面図 1/50



西側立面図 1/50



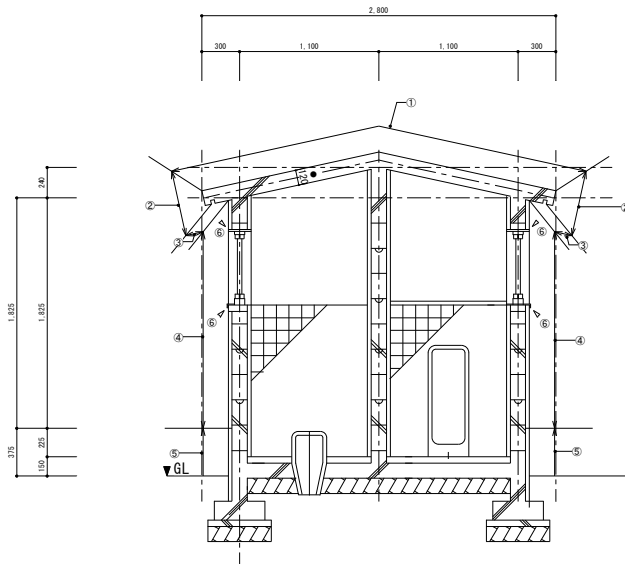
南側立面図 1/50

阿久根市都市建設課

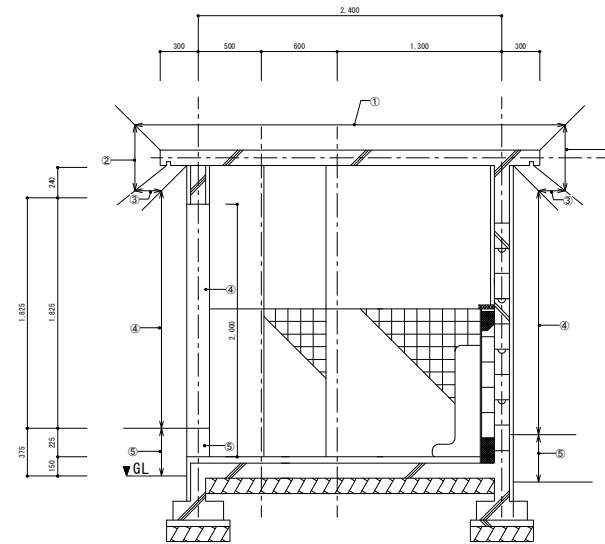
備考


担当	製図	年月日	2026/04	工事名	大丸公園トイレ改修工事	図面番号	07
		縮尺	1/30・50	図面名	平面図・立面図・屋根伏図・軒天図		

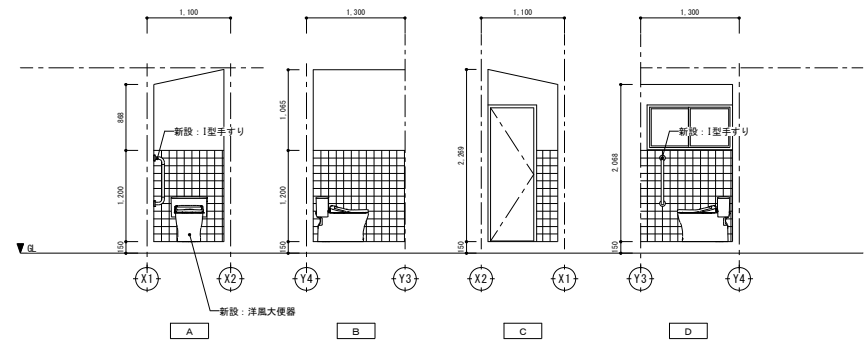
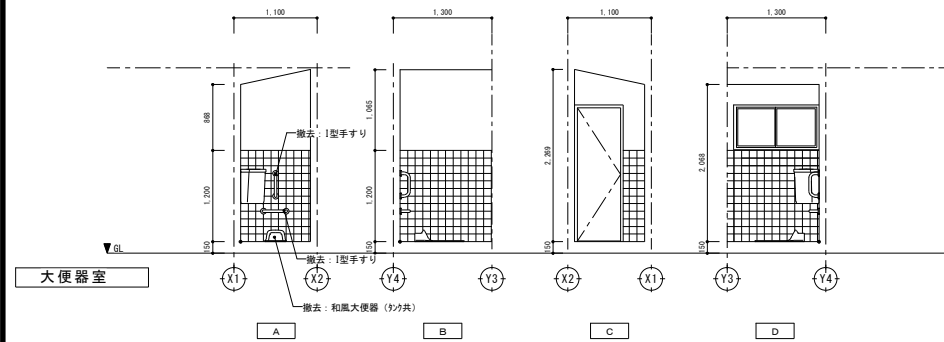
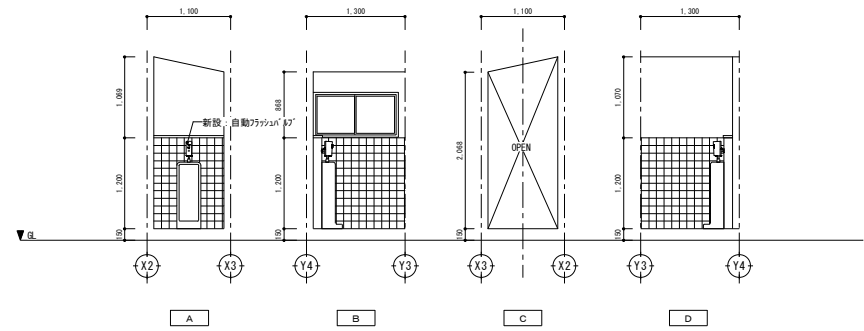
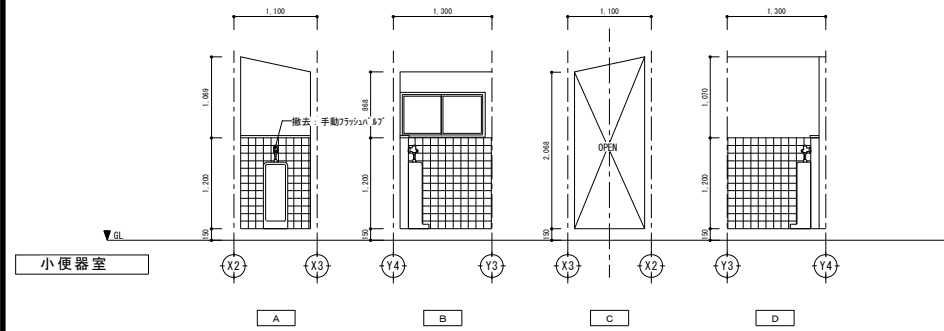
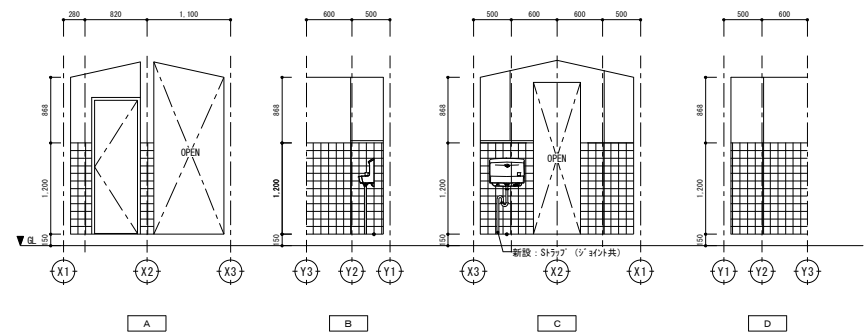
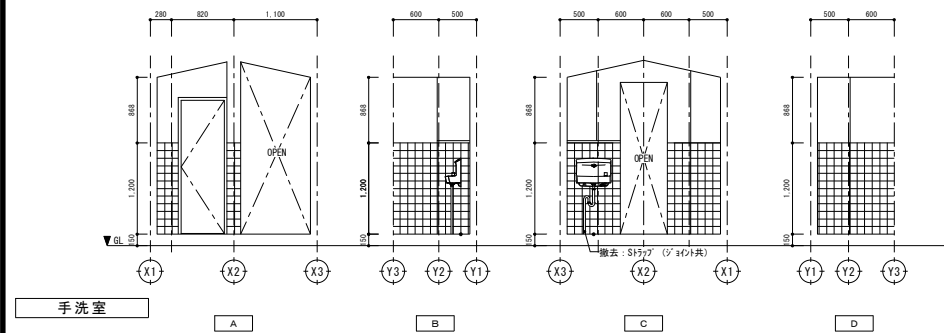
番号	部 位	改修前	改修内容
①	屋 根	コンクリート打放し金ごてEP塗り	水洗い工法→下地調整（※リペアメントEP別）→塗膜防水（X-2）
②	軒 先	コンクリート打放し金ごてEP塗り	水洗い工法→下地調整（※リペアメントEP別）→塗膜防水（X-2）
③	軒 天	コンクリート打放し吹付け体仕上	水洗い工法（高圧ホップ）→可とう形改修塗材E（下地：微弾性フイバー）
④	外 壁	EP別金ごて押え吹付け体仕上げ	水洗い工法（高圧ホップ）→可とう形改修塗材E（下地：微弾性フイバー）
⑤	巾 木	EP別塗り 金ごて押え	水洗い工法（高圧ホップ）
⑥	建具廻り	シーリング	シーリング（変性シリコン系 MS-2） 10x10 打替



A部 断面詳細図 1/30



B部 断面詳細図 1/30



展開図 (改修前) 1/50

展開図 (改修後) 1/50

阿久根市都市建設課

備考


担当	製図	年月日	2026/04
迫口	迫口	縮尺	1/50

工事名	大丸公園トイレ改修工事
図面名	展開図

図面番号 09



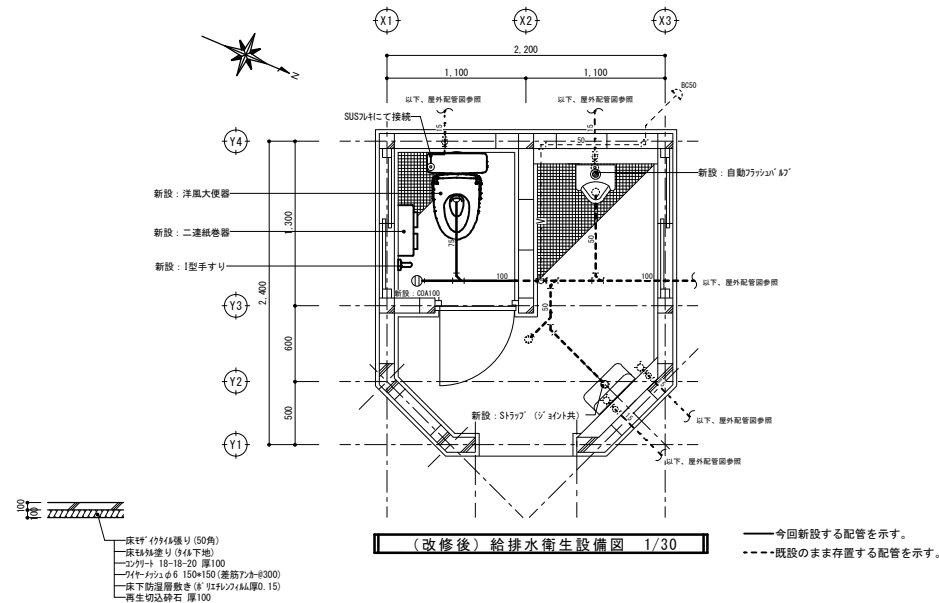


凡例表

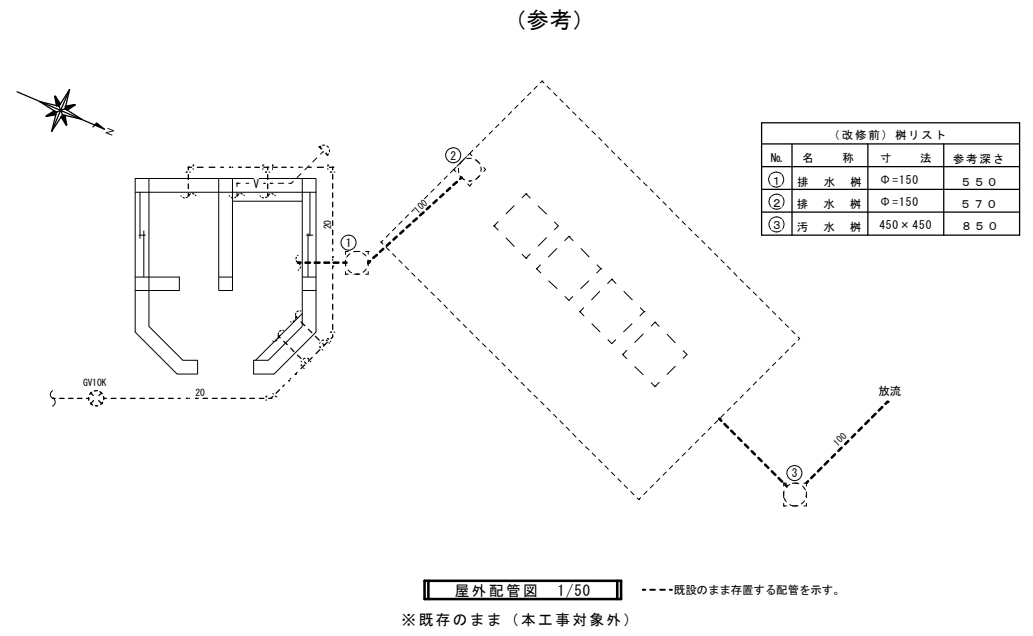
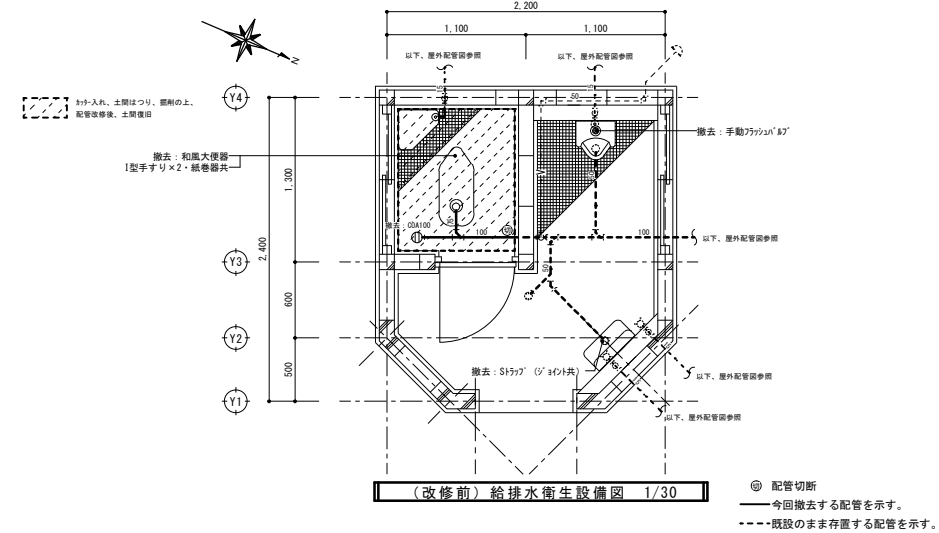
凡例	名称	内容
——	排水管	硬質塩化ビニル管 VP
——	給水管	硬質塩化ビニル内外面ライニング鋼管 SGP-VD (屋内土間埋設部)
——V——	通気管	硬質塩化ビニル管 VP

新設器具表

名称	数量	備考
小便器自動フラッシュバルブ	1個	(参考型番) LIXIL: OKU-131SD
手洗器ストラップ	1個	(参考型番) LIXIL: LF-SAL (5ヶ所用)φ150×25共
洋風大便器 (棚付二連紙巻器) (1型手すり)	1組	(参考型番) TOTO: CF5498B、TC301、YH702、T11206 LIXIL: BC-P110S、DO-PA150CH、CF-49AT、CF-63HS、KF-910AE60J



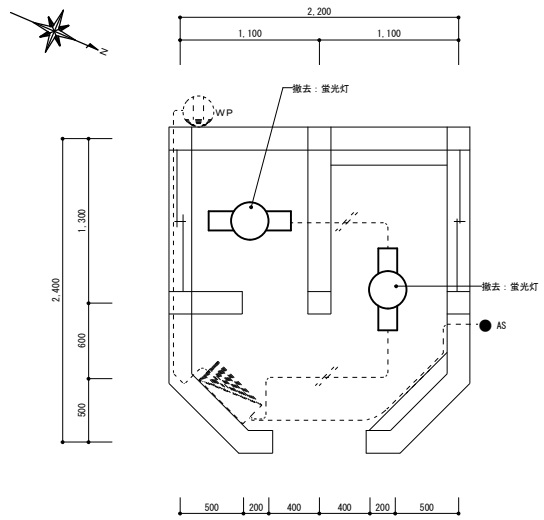
土間復旧図 1/50



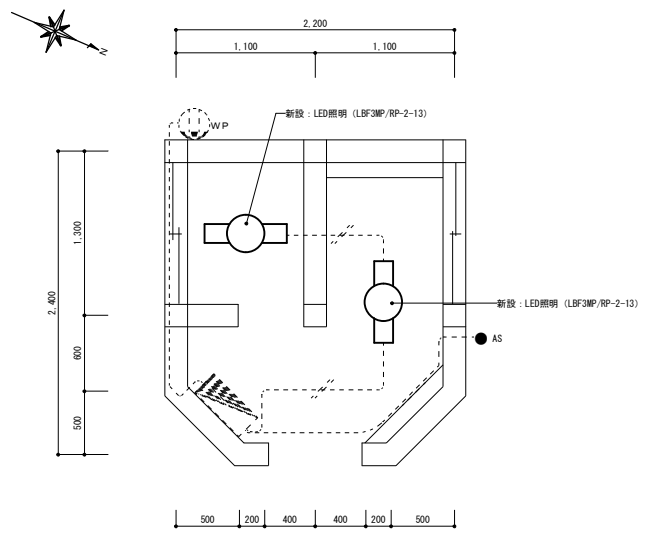
屋外配管図 1/50



凡例 (既存)		
記号	名称	備考
	蛍光灯	FBF2-201 ※撤去
	自動点滅器	※既存のまま
	開閉器箱	※既存のまま
	防水コンセント	15A125V (ﾌﾞｯｸﾞ-用) ※既存のまま



(改修前) 電気設備図 1/30



(改修後) 電気設備図 1/30